

物の燃え方

次の（ ）にあてはまることばを書きなさい。

- 燃えているろうそくの火にびんをかぶせると、やがて火は（ ）しまう。
- 燃えているろうそくに大きなびんをかぶせたときと、小さなびんをかぶせたときをくらべると、（ ）をかぶせた時の方がろうそくの火は長く燃える。
- 物を燃えさせ続けるには、新しい（ ）を送り続けなければならない。
- 物を燃やしているときは、びんの（ ）に二カ所すきまがあると、空気がよく通る。
- 空気のなかで一番多い気体は（ ）で全体の約78%をしめる。
- 空気の中で2番目に多い気体は（ ）で全体の約21%をしめる。
- （ ）は、空気中に0.03%から0.04%くらいふくまれ、地球^{おんだんか}温暖化の原因といわれている。
- 物を燃やすはたらきのある気体は（ ）である。
- ろうそくの火を、空気が入ったびんと酸素が入ったびんの中にそれぞれ入れると、（ ）が入ったびんの中にいれた時の方がはげしく燃える。
- 石灰水に二酸化炭素がとけると、石灰水が（ ）。
- びんの中でろうそくを燃やすと、燃やす前とくらべて、酸素の量は（ ）、二酸化炭素の量は（ ）。
- 二酸化炭素には物を燃やす働きは（ ）。

物の燃え方 解答

次の（ ）にあてはまることばを書きなさい。

1. 燃えているろうそくの火にびんをかぶせると、やがて火は（ **消えて** ）しまう。
2. 燃えているろうそくに大きなびんをかぶせたときと、小さなびんをかぶせたときをくらべると、（ **大きな** ）をかぶせた時の方がろうそくの火は長く燃える。
3. 物を燃えさせ続けるには、新しい（ **空気** ）を送り続けなければならない。
4. 物を燃やしているときは、びんの（ **上下** ）に二カ所すきまがあると、空気がよく通る。
5. 空気のなかで一番多い気体は（ **ちっ素** ）で全体の約78%をしめる。
6. 空気の中で2番目に多い気体は（ **酸素** ）で全体の約21%をしめる。
7. （ **二酸化炭素** ）は、空気中に0.03%から0.04%くらいふくまれ、地球^{おんだんか}温暖化の原因といわれている。
8. 物を燃やすはたらきのある気体は（ **酸素** ）である。
9. ろうそくの火を、空気が入ったびんと酸素が入ったびんの中にそれぞれ入れると、（ **酸素** ）が入ったびんの中にいれた時の方がはげしく燃える。
10. 石灰水^{せっかいすい}に二酸化炭素がとけると、石灰水が（ **白くにごる** ）。
11. びんの中でろうそくを燃やすと、燃やす前とくらべて、酸素の量は（ **減り** ）、二酸化炭素の量は（ **ふえる** ）。
12. 二酸化炭素には物を燃やす働きは（ **ない** ）。